

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 生活空間セマンティクス駆動型ロボットに関する研究
2. 研究代表者： 金崎 朝子（東京工業大学 情報理工学院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、ユーザにとって有用な情報の収集を行動目的とする生活空間セマンティクス駆動型ロボットを提案するものである。フェーズ1では要素技術開発を着実に進めており、一定レベルの論文をアウトプットできている。一方、全体のストーリーが、まとまっているとは言えず、どのように要素技術を組合せて目標を達成しようとしているのか、さらなる議論が必要である。様々な研究要素を含むベンチマークとして「保育園の連絡帳の自動生成」に取り組んでいるが、最終目標である生活空間セマンティクスの獲得が可能なのかどうか疑問が残る。フェーズ2では事例と進め方について一度整理する必要があり、注力いただきたい。

以上